


受賞者氏名	石山恒貴	
所属	大学院政策創造研究科	
受賞年月日	2021年3月	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	経営行動科学学会	
受賞名	第18回(2020年度)経営行動科学学会賞(JAASアワード)優秀研究賞	
受賞(研究)内容詳細	<p>【受賞内容】 (著書) 石山恒貴『日本企業のタレント マネジメント—適者開発日本型人事管理への変革』中央経済社 2020年7月</p> <p>【本書の概要】 近年、人事管理で実務的に注目され、かつ国際ジャーナルで急速に研究蓄積が進む概念がタレントマネジメントである。しかし日本において、タレントマネジメントを体系的に示した学術書は限られていた。本書は、グローバルなタレントマネジメントの概念を体系的に整理・議論するとともに、日本企業におけるタレントマネジメントについても分析焦点をあて、その実態を示している。タレントそのものに関する系統的な先行研究レビュー、日本型人事管理とタレントマネジメントの比較、タレントマネジメントの導入企業の事例研究(サトーホールディングス, 味の素, カゴメ)によって、新奇性の高い、具体的な事実が発見されている。</p> <p>第1章 タレントマネジメントがなぜ注目されるのか 第2章 日本型人事管理とタレントマネジメント 第3章 タレントマネジメントとは何か、本書で何を明らかにするのか 第4章 STMが機能する条件とメカニズムの解明 —外資系企業と日本企業の比較事例研究— 第5章 タレントマネジメント施策に関する 集団的認知と個人的認知の効果の検討 第6章 事例研究1 サトーホールディングス 第7章 事例研究2 味の素 第8章 事例研究3 カゴメ 第9章 まとめにかえて —タレントマネジメントと日本型人事管理の接続は可能か—</p> <p>【本書における重要な発見】 タレントマネジメントにおける適者開発日本型人事管理の特徴、およびその位置づけ。日本型人事管理における「学習」的観点の変革、というモデルの提示。</p> <p>【本書の貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タレントマネジメントというやや曖昧な概念の学術的な体系化。 ・タレントマネジメントの日本型人事管理への適用のあり方の実践的な提示。 ・理論的分析と詳細な事例研究の提示により、タレントマネジメントの実務担当者的実践的な応用が可能なこと。 ・タレントの定義の提示→「個性に応じた天賦の才能を有しながら努力してその開発を継続する個人であり、在籍する組織の環境に適合し貢献する存在」 ・タレントマネジメントの定義の提示→「タレントマネジメントとは、組織が、その競争戦略をタレント戦略に転換したうえで、適者開発を前提として、タレントを引きつけ、開発し、留め続けること」 	